

「たがが鼻水 されど鼻水」と「保育園症候群」

ver4.6 (H24年4月～) 120424 ファミリークリニック小祿

(1) 2歳未満の乳児は、

ドロドロした鼻水（副鼻腔炎）や中耳炎・気管支炎や結膜炎などの感染症を繰り返しやすい！

通称「保育園症候群」（ナーサリースクール症候群）nursery school syndrome

通称「保育園症候群」

ナーサリースクール症候群

になりやすい！

「保育園症候群」富山県小児科医会 新谷尚久先生発表（H24年4月小児科学会）

0～1歳児は季節に関係なく、年間を通して感染を繰り返す

月に2日以上以上の休園が多い

2歳～になると、感染の流行時・季節性に休園するようになる

- ① この情報を**保護者と保育園・医師が共有する事が大切**
- ② また**年齢に応じた感染対策が必要**

①両親のガンバリどき！

②利用できるサービスは何でも使う！（病児保育、子育てサポート等）

③抱え込まない！

*保育園に入ったばかりの生後10ヶ月男児、

*入園後すぐに鼻水のカゼをもらい発熱数日間、やがてどろどろした鼻汁となる、中耳炎が心配で耳鼻科へ、切開しないこともあるが、

通うたびに違う種類の抗生剤処方を受け、月の半分近く抗生剤を飲んでいる

*時にゼーゼーする気管支炎（細気管支炎）や胃腸炎にかかり小児科へ。小児科で「抗生剤ください」というと医師「カゼに抗生剤は効きませんよ」と言われ

どうしてよいのかわからなくなる。医師も「大きくなったら良くなりますよ」というが、肺炎・気管支炎・喘息・中耳炎が心配。仕事も休めないのでストレスになる

*そうこうしてるうちに、手足口病、水ぼうそう、アデノウイルス（結膜炎、扁桃炎）にかかりインフルエンザの季節に突入→同じコースを2年繰り返す

*2年目すぎから、同じ病気でも軽く済むようになる

*3歳からは、あんなに「び～ら～」だった長男も「う～まく～」に大変身する。小児科でも「お兄ちゃんになったね～」と言われ本人は鼻高々であるが、あんなに「び～ら～」だったことをスタッフに指摘されると恥ずかしくて照れ笑いしている

(2) 繰り返しやすい理由

① 細菌・ウイルスへの免疫力が低い

ドロドロした鼻水・痰の中にいる菌（肺炎球菌、インフルエンザ桿菌、モラキセラ菌の3大菌）への免疫力が低い

→ワクチンデビューは生後2ヶ月からお願い！
ウイルス感染も初めて経験する時が一番きつい
→繰り返すうちに軽く済むようになる



同じRSウイルスでも

健康成人は鼻かぜ



同じRSウイルスでも

赤ちゃんと老人は「細気管支炎」

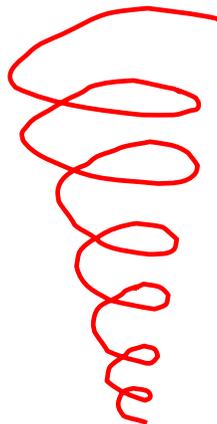
③耐性菌の増加

不要な抗生剤の使用が多い。

“カゼに抗生剤”が安易に行われている
～いざと言う場合に効かない！

抗生剤「出しときましようね」

抗生剤「ください」と悪循環スパイラルへ



↑
悪循環
↑
また、別の抗生剤
↑
効かない
↑
カゼに
抗生剤

②ピンポン感染

集団保育→一度治っても、お互いに感染しあうため。
また、耐性菌は鼻粘膜から簡単に周囲に広がる。

排便・排尿も自分で管理困難
→胃腸炎の集団感染

④ 発達の問題

大人と違う鼻腔・中耳の解剖と働き。

感染しやすく治りやすい。

大人タイプの副鼻腔炎（ちく膿症）は4～5歳から。

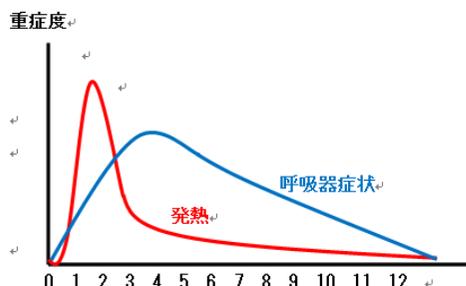
乳児～嘔吐しやすい（食道一胃逆流現象など）

鼻がかめない、痰が出せない、、、など

(3) 家庭で出来ること!

① 鼻かみの練習 鼻みずを吸引

こまめに、根気よく続けること!
鼻水は7~10日続くこともある



② 禁煙すること!

; 怒らずにお願いします(_ _)

外で喫煙しても乳幼児の影響は30%も増加~呼吸、衣服にもニコチンが残っていると乳児に影響あたえます

《早く治したいならば子供のためにも禁煙を!》

③ 入園前に! 肺炎球菌ワクチン接種

細菌性髄膜炎、肺炎、中耳炎等の予防にもなります
病院通いの回数が減ります!

「生後二ヶ月ワクチンデビュー」VPDの推進
ロタウイルスワクチンも、、、検討・ただし自費*
→ロタウイルス胃腸炎の予防になる
水ぼうそうワクチン、ムンプスワクチンも任意だがお勧め

④ 鼻みずが透明

咳はない時は、

抗生剤を使用せず 吸入吸引をこまめにおこなう。痰を切るお薬、漢方薬、新生児に母乳点鼻などいろいろやる事あり!
*無理に鼻水止めようとしない! 抗ヒスタミン薬で逆に悪化・副作用あり

⑤ ドロドロ鼻汁が

7~10日以上の場合

(10 day's ルール)

10日以上続くドロドロ鼻水・痰がらみの場合中耳炎・気管支炎などの合併も考える
→発熱あり+喘鳴ならまず小児科へ
→発熱なし+鼻水のみなら耳鼻科へ
抗生剤使うならしっかり使うこと!
0-3歳; 肺炎球菌、4歳; インフルエンザ桿菌;
耐性菌対策、培養

⑥ 自宅で鼻水の吸引

鼻洗浄水の作り方

- 1) 薄目の食塩水
(食塩 10g 重曹 2.5g 水 500ml 作りおき)、ペットボトルなど、冷蔵庫保存
- 2) スポイト等で数滴、鼻内に垂らす。
- 3) その後、市販の鼻吸引器(シンプルな口で吸うタイプで可)で吸引